

2015年度 第2回 常任幹事会議事録

●日時

2015年9月26日(土)
15:00~17:00

●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校 211教室

●出席者

秋元圭一〔会長〕
日野高〔副会長〕
甲斐光省〔副会長〕
三好耕之〔常任〕
西田一成〔常任〕
浜村圭一〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
白石龍子〔常任〕
小山弘〔常任〕
山田直毅〔常任〕
小山優子〔会員〕

●委任欠席者(カッコ内→代理人)

土橋洋一
竹島 巍
桜井裕美
大村政幸(秋元)
勝山昌幸
永吉昭浩
大野美菜子(秋元)
角谷祥子(松岡)
富澤和治
藤原成理(秋元)
上村晴美

常任出席者 10名

委任欠席者 11名

(常任幹事21/25名 定足数成立)

●議事進行:松岡和彦

●議事録

書記:長根小夏
校正・制作・文責:大村政幸
秋元圭一

■議題

- 1 同窓会ニュースについて
- 2 コラボ企画について
- 3 アサビ・ブリッジ・プロジェクトについて
- 4 その他・意見交換

■はじめに

◎出欠確認の後、前回会議の議事録は承認を受けてasabi-netへアップ予定との報告があった。

■議題1 同窓会ニュースについて

◎秋元会長より見本が配布されて報告があった。

「Tシャツ展、まんが計画、アサビフェスタ、卒制などの原稿を作ってくださいました。確定していない部分は必要最小限の情報を載せ、さんよん会の紹介は第2回の情報を入れました。会務報告、予算案は幹事会で報告した通りです。9/24に入稿、10/1に3,300部の印刷が上がり、DM発送会社でラベル貼りや封入をしていただき、10月6日から7日に3,191通を郵便局出しの予定。勝山氏にデザインをお願いし、校正は私と小山氏、松岡氏、大村氏でチェックしました。DM会社にて、学校名が入った封筒にアサビ新聞も封入し、昨年同様に広告郵便扱いで発送するため割引価格になります。来年以降、幹事名が増えることや科名の表記も含めたレイアウト変更、更に今後のカラー化やサイズ等の変更なども検討したいと思っています」

【質疑応答】「年度を西暦で表記してはどうか。科名の表記も難しいですが、事務局一任で良いと思うので統一していただければと思います」という提案に秋元会長は「記事を書く時も年度の表記がバラバラになることもあり、統一したほうが良いかもしれないですね。科名の変更については学校側の決定であり、被ってしまったらどこがどう違う科なのかわかるような名前の追加で良いかと思っています」と述べ、「『年度卒』を無くして『2015 VD』という表記で良いと思う」という意見に「行数が増えていくのは仕方ないですが、わかり易く整理してみます」と述べた。

■議題2 コラボ企画について

◎まんが計画3について、小山氏よりプリントが配布され、進捗状況の報告があった。

会期:10月12日(月)~17日(土) 12:00~19:00 人形町ビジョンズ

テーマ:チャンス!

参加者:35名(前回38名・前々回29名) 参加費:2,500円

冊子:1冊300円・200部印刷(前回300部) (作家への配布は2部から1部に変更)

告知:同窓会ニュース・DM・フェイスブックやツイッター、A1サイズのポスターを校内に掲示する予定。

小山氏は「次の常任幹事会では結果をご報告させていただき、今後も続けるか中止かのご判断を頂きたい。今回(第3弾)は9ヶ月以上の準備期間を設けたが、後半は急ぎ足となり、作家の皆様には制作時間が足らなかったと思います。前回報告の際には、当初50名くらいの参加を見込んでいたが、甲斐さんと相談して、冊子のページ数や展示方法などを考慮して37名くらいにしようということになった。作家にどのように制作していくかのお知らせや掲示物、名前のリストなども整理しながら作っていて、よりスムーズに進行できるようにしましたが、それでも時間が足りなかったと感じました。もし次回開催の承認をいただければ、準備期間を1年くらい設けたいと考えています。初日は16:30からオープニングパーティーもあるのでご参加ください」と述べた。

【質疑応答】「開催時期が前回より半月ほど早まった理由は?」「ヴィジョンズ側の都合です」

「1年前からヴィジョンズの予約を入れても、途中でこの日はずらしてくださいということはあるが、最初の頃はありましたが、早めに予約すれば問題ないです」「まんが計画の開催時期がアサビフェスタと近いのもう少し離せると良い。9月に開催すれば余った冊子を10月のアサビフェスタで売ることできる」「10月だけスケジュール過密になってしまうのはありますね。今回は叶わなかったですが、アサビフェスタにまんが計画のブースを置いて販売することもいいですね」「プリントアウトでA3くらいのポスターもあっても良いと思う」「外部の方にアサビ同窓会が主催して卒業生や学生が参加しているということが分かり易い」と良い。「在校生だとわかるように学生の参加者を強調してはどうか」と意見が続き、小山氏は「ポスターやDM、ペンネームなど名前の表記等も含め、これらの意見を検討したい」と述べた。

■議題3 アサビ・ブリッジ・プロジェクトについて

◎Tシャツ展について

浜村氏より、前回会議での意見を参考に企画書を再検討して、学校との交渉にあたったとして説明があった。

【前回意見】

「2枚プリントして1枚は出品者へのお礼、もう1枚は売るといのはどうか」「来場者に人気投票をお願いし結果をasabi-netに載せるのはどうか」「全学年を対象にまんべんなくノミネートして欲しい」「同窓生が公開しているメールアドレスを活用してはどうか」「テーマ『応援』が活かされるよう考えてほしい」「どういう作品を求めているかを明確にしては」「展示方法は飽きない見せ方が必要」「公募でなくても良いのではと思う」「同窓会ニュースで公募しても良いと思う」「日付などを表示して記録に残ると良い」「70周年のロゴは入れた方が良い」等。

【進行状況】

8/3に卒展の管理担当者が加藤先生と福田先生であることを確認し、交渉した。8/8加藤先生にメールで企画書を提出、加藤先生の代読にて9/10学校の教員会議で承認を受け、9/11学生卒展委員会議で承認を受けた。9/11加藤先生と福田先生と西田さんと私で学校でお会いし、あらためて承認を得ました。そのあと学校長と面談して承諾をいただき、お礼を言われました。9/14・15同窓会ニュース用の記事作成。記事としては展覧会の開催告知をメインとし、公募はメールで参加申請する呼びかけとし、参加依頼者には参加要項を発送する形をとります。9/16同窓会ニュース用原稿を入稿。同日に加藤先生から過去の卒展の受賞者リストをメールでいただきました。9月中旬から、Tシャツ展へこちらから参加依頼する方のリストアップ作業に入っています。

10月下旬に参加要請者及び希望者へ参加要項書を発送の予定。

【意見交換】

「応募要項の内容が見えてこない」「参加することに意義があるということでは」「声掛けする時に何か質問された場合、同窓会としてどういう意図で参加者に声をかけているのか、何を重視した形で話をしているのかを我々も答えられないといけな」「予算決定後に出た企画なので読取れない部分がある」「Tシャツ1枚の完成にかかる概算を見ながら検討できると良かった」「刺繍をしたいという希望者がいた場合、Tシャツを自身で用意してもらって作品を送っていただくことは可能でしょうか」「個別の声にも対応したい」「あらかじめ70周年のロゴをプリントするなどしてこちらから渡さないといけな。どんな状況でも参加の意思は汲みたい」等の意見があり、これからの進行の参考にしようとした。

■ 議題4 その他・意見交換

◎名簿管理について、小山氏よりプリントが配布され、同窓会ニュースの発送数は約3,191名との報告があった。
・発送数の推移：2013年3,241名／2014年3,201名／2015年3,191名（今年度の追加人数は88名）。
小山氏は「発送数が3,000を過ぎてから4,000に近づくことがない。住所が変わる人の情報を拾いきれていない。どうやって名簿を集めていくかが課題」。さらに「幹事さんからあたってみても5人くらいは見つかりそう」「住所が変わる人は卒業式のときに提供してもらおう」「会社への郵送はしないため、現住所と実家の住所を聞いている」と述べた。「現住所と実家の二つの情報があると手がかりになるかも」との意見交換があった。

◎松岡氏より

【報告】「アサビフェスタにて10月25日13時から、アサビ70周年ということで、ゲストに桂正和さん、寺田克也さん、竹谷隆之さんと呼び、講演を行います。ブリッジからの継続なのでアサビ同窓会の名前も入れたい。学生が見られるように中庭で行います。24日はイラストレーターの横井ヨシサトさん、玩具企画をしている岡田千晶さんのゲスト講演もあります」。

【提案】「今学校ではグーグルエデュケーションといって、学生や教員へメールアドレスが与えられており、そのアカウントでグーグルドライブの容量が無制限に使えます。同窓会のアカウントも作っており、同窓会の世代交代に備える意味でも、各担当者が持っている資料や情報などをアーカイブしておいてはどうかと思います」。

《質疑応答》「その集めた情報というのはどのくらいの人にまで公開するのでしょうか?」「常任幹事の方です」。「情報を見られる人、編集する人などの分別はこちらで指定できるのでしょうか?」「分けられるようです。フォルダの責任者を決めて、内容を編集する時は連絡を入れるようにすれば良いと思っています」。「閲覧は皆が見られて編集者は一人とか、完成原稿だけ入れるようにすると良いと思う」、「作成中のデータは入れないとか、フォルダの振分けは年度ごとか委員ごとかなどのルールを決めたい」、「グループの整理や日にちの管理は難しいと思う」、「グーグルは開かれすぎていてセキュリティが少し心配なので、有料などのセキュリティの高いクラウドサービスを使うことも検討したほうが良いと思う」、「名簿などは置かないほうが良い」、「ドライブが無制限で使えるのは魅力」などの意見が出た。

【お願い】「facebook更新のための情報が欲しく、常任幹事の方に協力をお願いしたい。アサビ同窓会の活動を知らせてもらうために、さんよん会やアサビブリッジ、まんが計画の終了後の情報があると良いと思います」

◎さんよん会について

秋元会長が「卒展の時期に絡めるかどうかや、次年度に行うとしても方向性が欲しい」と述べ、甲斐氏は「2回目までは年代順でやっていたが、住所不明が多い年代の方達でやることも考えています」と答え、さらに小山氏は「名簿の補完をしたい。住所を集める仕組みがあればと思うので、下地を作って行きたい」と述べた。

以上で議会は閉会した。